

# 平成28年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市教育委員会

## はじめにお読みください。

### <調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体で学習への取組状況等を把握しています。また、平均正答率等、学校全体で情報を共有するとともに、分析を実施して自校の取組等の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせすることは、学校と保護者及び地域の皆様が情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、児童生徒の学力向上の取組を一層充実させることにつながると考えます。

このことを踏まえて、調査の結果をお知らせするにあたり、調査の結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 次に示す調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 平均正答率などの数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

## <全国学力・学習状況調査の概要>

※「平成28年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

### 1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

### 3 調査実施日

平成28年4月19日(火)

#### 4 調査の内容

|                        |  |  |
|------------------------|--|--|
| (国語、算数・数学)<br>教科に関する調査 | 主として「知識」に関する問題 (A)   | 主として「活用」に関する問題 (B)   |
|                        | ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容<br>② 実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など<br>【小学校国語A・算数A 各20分】<br>【中学校国語A・数学A 各45分】 | ① 知識・技能等を実生活の様々な場面で活用する力<br>② 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など<br>【小学校国語B・算数B 各40分】<br>【中学校国語B・数学B 各45分】 |
| 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査    | 児童生徒に対する調査   | 学校に対する調査   |
|                        | 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査<br>(例) 国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、一日にテレビを見る時間、携帯電話等の使用時間、読書時間、勉強時間の状況 など<br>【小学校・中学校とも20分程度】  | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査<br>(例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など                  |



### 桶川市の調査結果の概況

#### 小学校

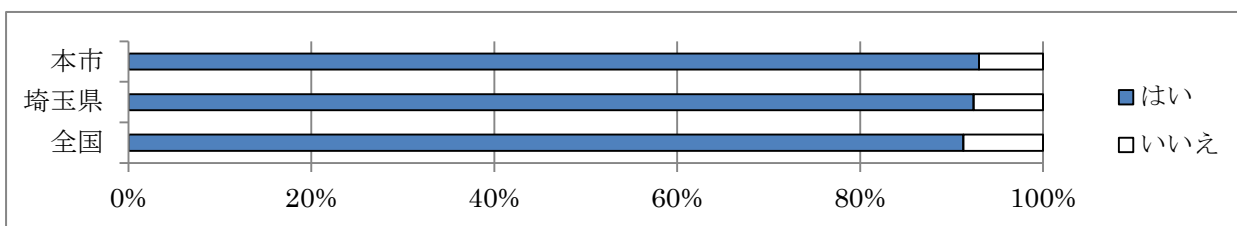
| 国語                   | A (主として「知識」に関する問題) |             |            |             | B (主として「活用」に関する問題) |             |            |             |
|----------------------|--------------------|-------------|------------|-------------|--------------------|-------------|------------|-------------|
|                      | 設問数                | 本市平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) | 設問数                | 本市平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) |
| 学習指導要領の領域等           |                    |             |            |             |                    |             |            |             |
| 話すこと・聞くこと            | 1                  | 79.4        | 78.8       | 79.2        | 3                  | 50.5        | 49.3       | 51.1        |
| 書くこと                 | 2                  | 75.2        | 72.7       | 72.8        | 6                  | 53.2        | 52.0       | 53.4        |
| 読むこと                 | 2                  | 79.0        | 77.8       | 78.5        | 3                  | 70.4        | 68.1       | 69.3        |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 10                 | 69.2        | 69.4       | 71.1        | 0                  | -           | -          | -           |

| 算数        | A (主として「知識」に関する問題) |             |            |             | B (主として「活用」に関する問題) |             |            |             |
|-----------|--------------------|-------------|------------|-------------|--------------------|-------------|------------|-------------|
|           | 設問数                | 本市平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) | 設問数                | 本市平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) |
| 学習指導要領の領域 |                    |             |            |             |                    |             |            |             |
| 数と計算      | 10                 | 78.2        | 78.2       | 80.5        | 6                  | 43.5        | 43.2       | 44.4        |
| 量と測定      | 2                  | 78.2        | 77.3       | 77.0        | 5                  | 44.4        | 43.7       | 43.7        |
| 図形        | 2                  | 77.6        | 76.3       | 78.8        | 3                  | 37.9        | 36.1       | 36.3        |
| 数量関係      | 3                  | 69.9        | 67.8       | 68.5        | 6                  | 43.6        | 41.8       | 42.9        |

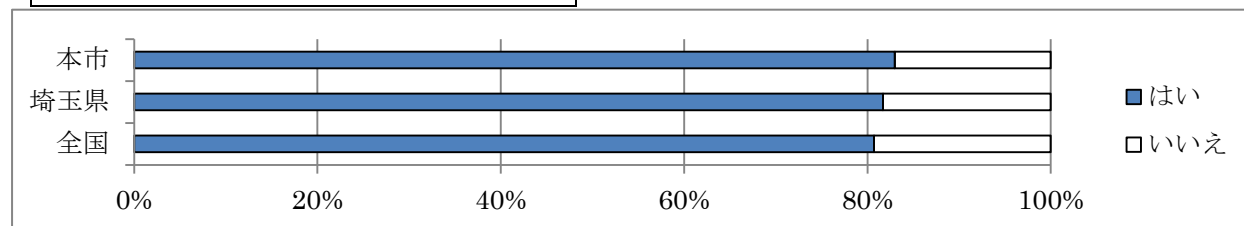
<児童への質問紙調査> (主なものをグラフで表示)

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う  
 いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

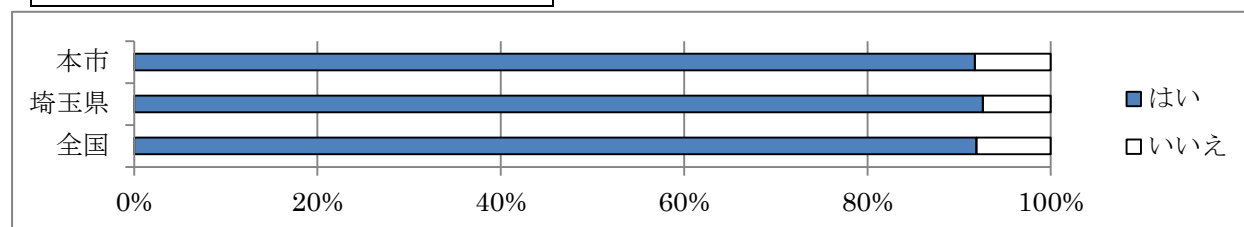
国語の勉強は大切だと思いますか。



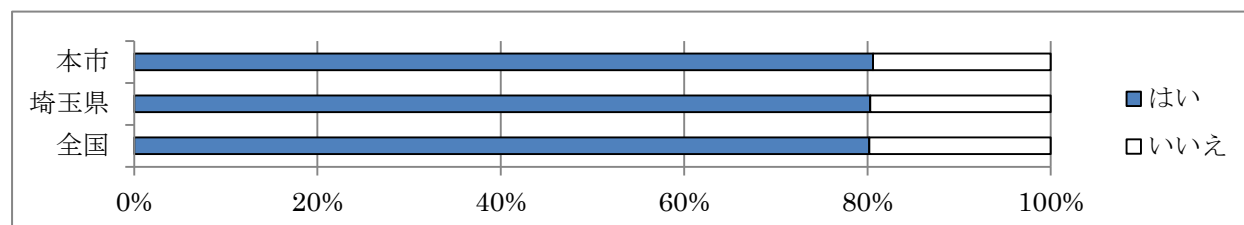
国語の授業内容はよく分かりますか。



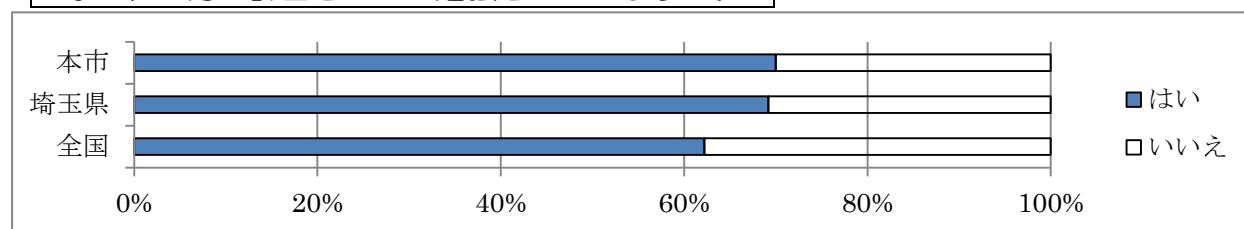
算数の勉強は大切だと思いますか。



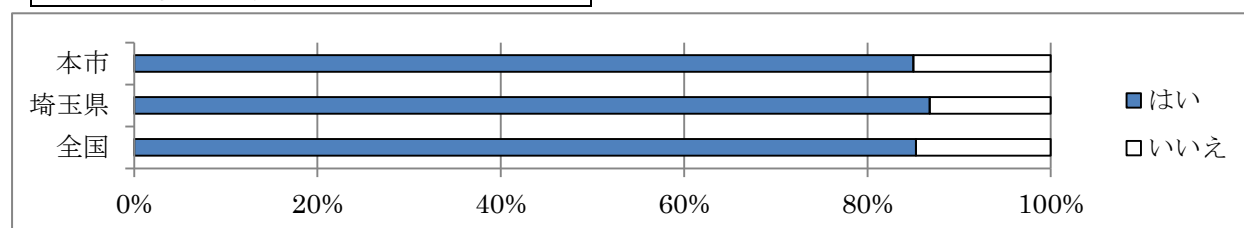
算数の授業内容はよく分かりますか。



家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



将来の夢や目標を持っていますか。



中学校

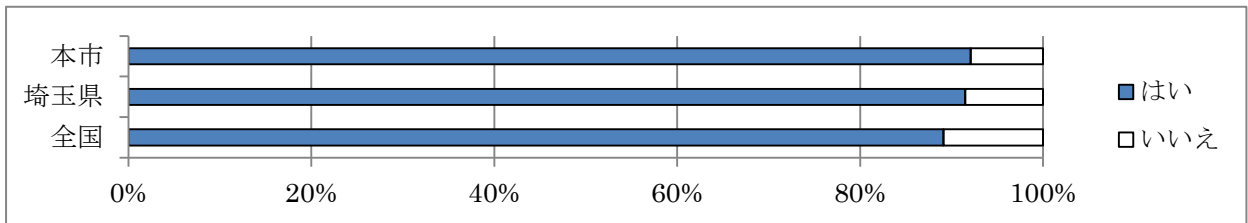
| 国語                   | A（主として「知識」に関する問題） |             |            |             | B（主として「活用」に関する問題） |             |            |             |
|----------------------|-------------------|-------------|------------|-------------|-------------------|-------------|------------|-------------|
|                      | 設問数               | 本市平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) | 設問数               | 本市平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) |
| 学習指導要領の領域等           |                   |             |            |             |                   |             |            |             |
| 話すこと・聞くこと            | 6                 | 77.0        | 77.4       | 78.9        | 0                 | -           | -          | -           |
| 書くこと                 | 4                 | 73.6        | 72.5       | 73.7        | 3                 | 55.2        | 57.0       | 58.3        |
| 読むこと                 | 6                 | 78.5        | 77.7       | 78.6        | 9                 | 66.5        | 65.6       | 66.5        |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 17                | 74.4        | 73.7       | 73.9        | 0                 | -           | -          | -           |

| 数学        | A（主として「知識」に関する問題） |             |            |             | B（主として「活用」に関する問題） |             |            |             |
|-----------|-------------------|-------------|------------|-------------|-------------------|-------------|------------|-------------|
|           | 設問数               | 本市平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) | 設問数               | 本市平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) |
| 学習指導要領の領域 |                   |             |            |             |                   |             |            |             |
| 数と式       | 12                | 63.5        | 64.3       | 65.9        | 6                 | 50.5        | 50.5       | 51.5        |
| 図形        | 12                | 64.7        | 65.4       | 67.1        | 2                 | 35.8        | 34.4       | 33.3        |
| 関数        | 8                 | 49.0        | 49.4       | 52.0        | 5                 | 39.4        | 39.9       | 41.4        |
| 資料の活用     | 4                 | 54.5        | 54.5       | 56.5        | 2                 | 36.0        | 38.4       | 39.3        |

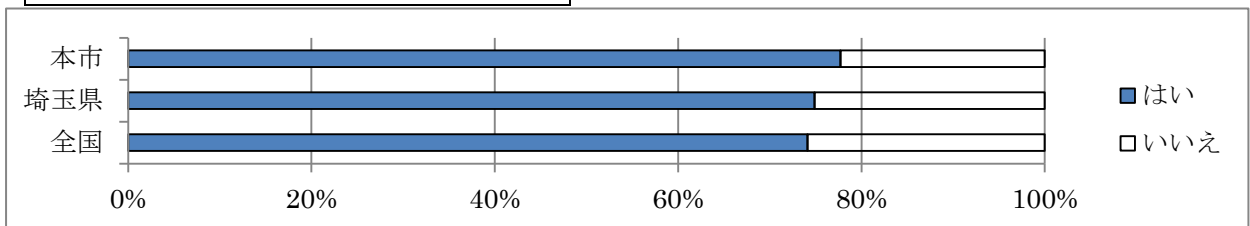
<生徒への質問紙調査>（主なものをグラフで表示）

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う  
 いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思うわない

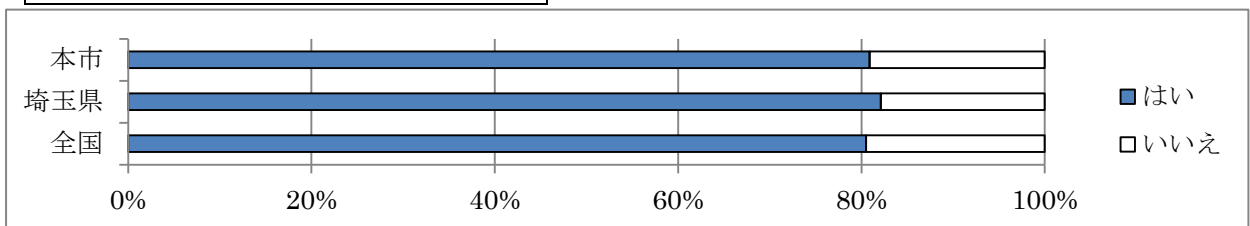
国語の勉強は大切だと思いますか。



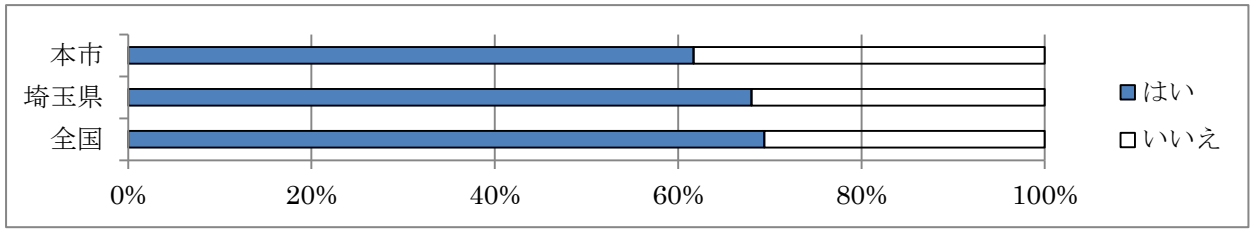
国語の授業内容はよくわかりますか。



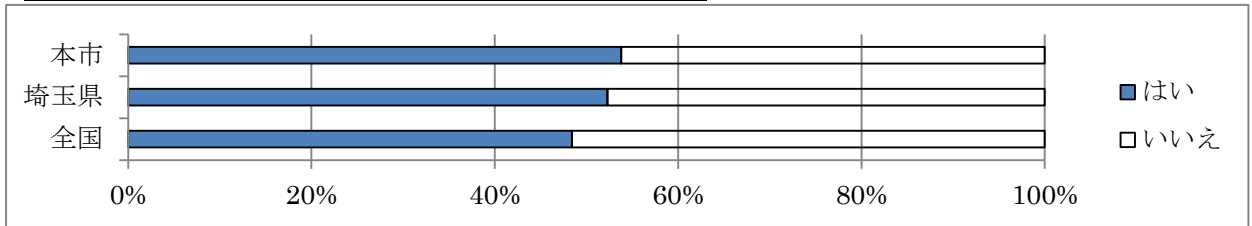
数学の勉強は大切だと思いますか。



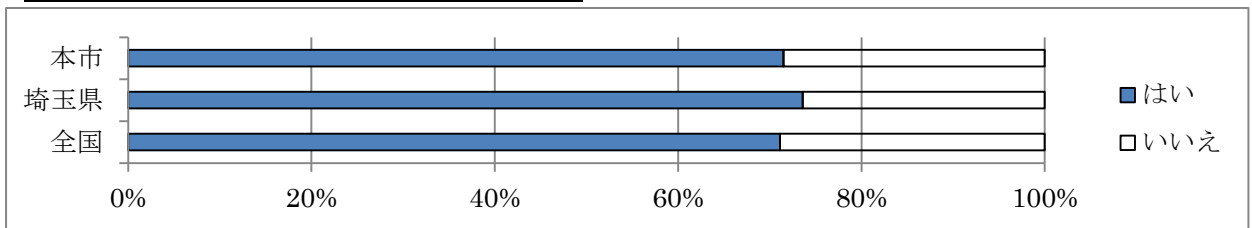
数学の授業内容はよく分かりますか。



家で自分で計画を立てて勉強していますか。



将来の夢や目標を持っていますか。



# 桶川市の調査結果の分析・考察

## <小学校国語A>

### 【領域別の分析】

#### 結果からわかること

○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全国の平均正答率を下回りましたが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域は、全国の平均正答率を上回っています。

#### 分析

- 「書くこと」では、目的や意図に応じて、書く事柄を整理することができます。
- 「読むこと」では、目的に応じて、図と表を関係付けて読むことができます。
- ◆「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、今回出題された漢字の読み書きは、相当数の児童ができていますが、漢字によって、正答率が低いことが分かります。また、ローマ字の読み書きに課題があります。

### 【問題例①】

#### 問題 3

【学年集会のお知らせの下書き】を友達に助言をもらって書き直しました。その助言の内容として適切であると考えられるものを、1から5までの中から2つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 ゲームの手順が分かりやすいように、内容のまとめりごとに番号をつけた方がよい
- 2 多くの人に伝えるので、文末を呼びかけるような表現にした方がよい。
- 3 だれにでも分かるように、難しい言葉をやさしい言葉にした方がよい。
- 4 ゲームの手順が正しく伝わるように、接続の言葉を使った方がよい。
- 5 一文が長くて内容が伝わりにくいので、いくつかの文に分けた方がよい。

#### 正答

1、5 本市正答率 67.5%

### <分析>

#### 誤答例

1と解答しているが、5と解答していないもの  
本市解答率 18.6%

5と解答しているが、1と解答していないもの  
本市解答率 7.8%

◎表現をよりよくするためには、書いたものを読み合い、助言し合うことが必要です。その際、次のような視点をもつように指導することが大切です。

- ・書き手の考えが明確に表れているか
- ・段落相互の関係などが明確であるか
- ・表現の曖昧さはないか
- ・読み手が理解しやすいようにさらに改善できる部分はないか

### 【問題例②】

#### 問題 8

- 一 ローマ字を書く。(りんご)
- 二 ローマ字を書く。(あさって)
- 三 ローマ字を読む。(h y a k u)

#### 正答

- 一 r i n g o  
本市正答率 52.1%
- 二 a s a t t e  
本市正答率 33.3%
- 三 ひやく  
本市正答率 41.0%

### <分析>

#### 本市無解答率

一 14.1% 二 18.3% 三 24.3%

◎ローマ字の指導については、情報機器の活用や他の学習活動との関連を考慮し、ローマ字を使った読み書きがより早い段階においてできるようにしています。ローマ字の読み書きについては、日本語の音節が子音と母音の組合せであることを意識し、五十音表の規則性を押さえる必要があります。

また、濁音、半濁音、長音、拗音、促音、撥音などについても、音声と関係づけながら規則性があることに気付き、身に付けることができるように指導することが大切です。

## <小学校国語B>

### 【領域別の分析】

#### 結果からわかること

○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」3つの領域において、「読むこと」は全国の平均正答率を上回っています。

#### 分析

- 「話すこと・聞くこと」では、目的に応じて、質問することを整理したり、質問することの意図を捉えたりできています。
- 「書くこと」では、目的や意図に応じ、グラフや表を基にして自分の考えを書くことができています。
- 「読むこと」では、目的に応じ、複数の本や文章などを選んで読んだり、自分の考えを明確にしながらかきながら読んだりすることができています。
- ◆話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って次の質問を考えることができている児童もいますが、記述式の問題においては全国の平均正答率を下回りました。

### 【問題例①】

#### 問題 1三

山下さんは【インタビューの一部】の□の中で質問をしています。どのような質問をしたと考えられますか。次の条件に合わせて書きましょう。

条件

- ① 【事前に準備したインタビューメモ】の内容を使って質問している。
- ② 「◇店長」の発言を受けて書いている。
- ③ 30字以上、50字以内にまとめて書いている。

#### 正答

条件①、②、③を満たしているもの  
本市正答率 43.5%

#### <分析>

#### 誤答例

条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの（条件③については不問）

本市解答率 32.3%

本市無解答率 6.9%

◆記述式の解答において、与えられている条件を見落として書いたことが考えられます。

◎相手の意図を捉えながら聞いた上で、話の展開に沿って質問することなど、目的や意図に応じて自分の考えをまとめたり、書いたりすることに課題があると考えられます。

### 【問題例②】

#### 問題 2三

高野さんは「早ね早起き」活動のまとめ中で「1 成果」だけでなく、「2 課題」も取り上げて書きました。課題を取り上げた効果の説明として最も適切なものを次の1から4までの中から1つ選んでその番号を書きましょう。

#### 正答

1

本市正答率 62.1%

#### <分析>

#### 誤答例

2 本市解答率 10.6%

3 本市解答率 7.2%

4 本市解答率 15.5%

◆活動報告文において、「活動の目的」、「活動の内容」、「活動の成果」、「活動の課題」、「活動を振り返って考えたこと」等活動報告文の構成として【成果】と共に【課題】を記入した効果を捉えることができなかった児童がいたと考えられます。

◎文章を作成するうえで、相手や目的に応じて、文章全体の内容や構成を工夫し、自分が伝えたい内容と構成の効果を理解に課題があると考えられます。

## <小学校算数A>

### 【領域別の分析】

#### 結果から分かること

○「数と計算」「図形」の2領域では全国の平均正答率を下回りました。また、昨年度下回っていた「量と測定」「数量関係」は、全国の平均正答率を上回りました。

#### 分析

○「数量関係」における百分率の基準量と比較量の関係を見る問題では、全国の平均正答率を上回り、無解答率は全国と比較して低くなるなど学習成果が見られました。  
◆「数と計算」において除数の大きさと商の大きさや、除法の性質の理解の下に小数の計算をすることに課題が見られます。

### 【問題例①】

#### 問題 1

(1)  $\square \div 0.8$  の商の大きさについて、正しいものを選びましょう。(  $\square \neq 0$  )

- 1  $\square \div 0.8$  の商は、 $\square$  より大きくなる。
- 2  $\square \div 0.8$  の商は、 $\square$  より小さくなる。
- 3  $\square \div 0.8$  の商は、 $\square$  と同じになる。

**正答** 1 本市正答率 58.2%

(2)  $2.1 \div 0.7$  を「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」というわり算の性質を使って、次のような計算をします。

$$\begin{array}{ccc} 2.1 \div 0.7 = \text{ア} \\ \downarrow 10 \text{ をかける} \quad \downarrow 10 \text{ をかける} \\ \text{イ} \div 7 = \text{イ} \end{array}$$

上のア、イ、イに入る数を書きましょう。

**正答** ア21、イ3、イ3 本市正答率 61.4%

#### <分析>

##### 誤答例

(1) 2 本市解答率 35.0%

◆除数(わる数)が1より小さいとき、商(答え)が被除数(わられる数)より大きくなることの理解に課題があります。

(2) 0.3 や 0.03 や 300

本市解答率 29.2%

◆除数と被除数に同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても商は変わらないことの理解に課題があります。

◎計算の答えを機械的に求めるだけでなく、その計算の意味や性質をしっかりと理解することが大切です。

### 【問題例②】

#### 問題 9 (2)

バスに乗っている人数は60人です。乗っている人数は、定員よりも定員の20%分多いそうです。定員をもとにしたときの乗っている人数の割合を、百分率を使った次の図に表します。



図の中のアとイには、下の4つの数のいずれかが入ります。どれが入るでしょうか。

20 80 100 120

**正答** ア100 イ120 本市正答率 55.2%

#### <分析>

##### 誤答例

ア80 イ100 本市解答率 10.3%

その他の誤答

本市解答率 16.0%

◆1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係の理解が、全国の平均正答率を上回っています。しかし、半分弱の児童の理解に課題があります。

◎割合において、基準量と比較量の関係を正しく捉えることができるようにすることが大切です。特に何が基準量に当たるのかをしっかりと意識することが大切です。



<小学校算数B>

【領域別の分析】

結果から分かること

○昨年度の調査で全国の平均正答率を下回っていた「量と測定」「図形」「数量関係」の3領域で、今年度の調査では全国の平均正答率を上回りました。

分析

- 「数量関係」において、単体量当たりの大きさを求めるために、ほかの必要な情報を判断し特定することにおいて、全国の平均正答率よりも高くなりました。
- ◆「数と計算」において、示された式の中の数値の意味を解釈し、それを説明することに課題が見られます。

【問題例①】

問題 4 (1) (一部抜粋)

あさ子さんのように各学校の一人あたりの貸出冊数を求めるためには、表1の□の各学校の貸し出し冊数の合計の他に、どのような数が必要ですか。

|                     |
|---------------------|
| A小学校貸出<br>合計 9738 冊 |
| B小学校貸出<br>合計 8405 冊 |

1 各学校の図書館を利用した人数  
2 各学校の、学校全体の児童の人数  
3 各学校の、図書館にある本の冊数  
4 各学校の、本の種類ごとの貸出冊数

正答

2 各学校の、学校全体の児童の人数  
本市正答率 52.3%

<分析>

誤答例

- 1 各学校の図書館を利用した人数  
本市解答率 26.5%
- 4 各学校の、本の種類ごとの貸出冊数  
本市解答率 11.9%
- 本市無解答率 0.8%

- ◆全国の平均正答率を本市の正答率は、4.0ポイント上回っています。また、無解答率も全国と比較し、半分以下となっています。
- ◎1人当たりの貸出冊数を求める時、各学校の貸出冊数の合計と各学校の学校全体の児童の人数が必要であることを判断します。課題を解決するために必要な情報を収集することができることは大切です。

【問題例②】

問題 2 (3) (一部抜粋)

40m走のタイムをもとに、40mハードル走の目標タイムを決めます。  
40mハードル走の目標タイムを求める式  
**40m走のタイム+0.4 (秒) ×ハードルの数 = 目標のタイム**  
新たな目標タイムを求めるには、上記式の0.4を、例えば0.3に代える。

作り直した式

**40m走のタイム+0.3 (秒) ×ハードルの数 = 目標のタイム**

式の中の0.4や0.3は、どのような時間を表している数だと考えられますか。言葉や式を使って書きましょう

正答例

「0.4や0.3は、「ハードル1台あたりに増える時間である」と考えられる。」  
本市正答率 12.9%

<分析>

誤答例

- 「増える時間である」  
本市解答率 35.3%
- 本市無解答率 19.8%

- ◆「0.4 (秒) ×ハードルの数」が40m走のタイムに比べて40mハードル走の時に増えるタイムであることを捉え、0.4や0.3がハードル1台あたりに増える時間であることを判断することに課題があります。
- ◎式の数値はどこから導き出されたものであるのか、その数値に対してどのような演算を行っているのかを考えたり、確認したりすることが大切です。

<中学校国語A>

【領域別の分析】

結果からわかること

○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、全国の平均正答率を上回っています。

◆「話すこと・聞くこと」では、全国の平均正答率を下回っています。

分析

○文学的文章において、文脈の中における語句の意味を理解する力、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する力の定着が見られます。

◆相手の発言を自分の考えと比較しながら聞き、共通点や相違点を考えたり、不十分な点に気付いたりすることに課題が見られます。

【問題例①】

問題 3二

【問い】に対する答えとして最も適切なものを選択肢から選ぶもの。

【問い】『「私」にとってライスカレーとはどのようなものか。』

正答

「幼いころに祖母が作ってくれた忘れられないものであり、カレーライスとは区別しているもの。」

本市正答率 90.5%

<分析>

○随筆 「ほんとうのライスカレー (井上靖)」を読んで、選択肢が4つある中から答える問題です。正答以外の3つの選択肢は、それぞれ本文中にそれとは異なる記載があります。本文をよく読み、登場人物の言動からその意味を理解することができています。

○随筆を読む際には、出来事や経験などの描写を通して、筆者の感想や感慨を捉えることが大切です。国語科の学習はもちろんのこと、授業以外でも、発達段階に応じた読書経験の実践をとおして「読む力」を身に付けている成果です。



【問題例②】

問題 7一

【問い】前田さんは、西さんの発言をどのように聞いているか。

- 1 立場を理解し、皆が納得できる意見になっているか考えながら
- 2 支持している候補に反対し、どのような理由から反論できるか考えながら
- 3 意見を受け、自分が支持している候補を変更すべきか考えながら
- 4 意見に疑問をもち、別の候補がないか理由も合わせて考えながら

正答 1

本市正答率 64.1%

<分析>

◆ペアで話し合う場面で、相手の発言を自分の考えとどのように比較しているかを問う問題です。同じ意見に対して、1説得力をもたせようとして聞いています。2反対、3変更、4別の候補については、考えていません。

○相手と自分の意見や考えを比較しながら聞くためには、まず自分の考えをもつことが重要です。ペアやグループでの話し合いを行う場面では、まず個人の活動の時間を十分にとり、比べるための自分の考えをもたせます。互いの共通点・相違点を意識しながら話し合いを進めることで、考えを深めたり、広めたりしていきます。

## <中学校国語B>

### 【領域別の分析】

#### 結果からわかること

○2領域のうち、「読むこと」において、全国の平均正答率と同程度です。

◆「書くこと」においては、全国の平均正答率を下回っています。また、「選択式」の問題では高い正答率が見られますが、「記述式」の問題では全国と比べて平均正答率が低く、無解答率が高くなっています。

#### 分析

○文章の構成を捉える力や、目的に応じて文章を要約する力などは、全国と比べて定着していると様子が見られます。また、無解答率は全国に比べて低いことから、問題に対して最善を尽くそうとしていることが分かります。

◆文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く設問や、本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く設問などでは、条件を十分に満たして書くことに課題が見られます。

### 【問題例①】

問題 2一

科学雑誌の記事の構成を捉え、その説明として適切なものを選択するもの。

正答

3 **A**、**B**で宇宙エレベーターの仕組みや実現の可能性が高まった理由を述べた上で、**C**で実現した際の具体的な利点を書いている。

本市正答率 68.0%

#### <分析>

○「宇宙エレベーター」について紹介する科学雑誌の記事を読んで、その文章の構成を捉え、項目ごとの内容について理解することができるかどうかをみる問題です。不正解だった生徒の半数は、**B**の部分の読み取りと判断を誤ったものであり、その傾向は、全国と同様でした。

◎説明的な文章を読む際には、全体的な構成を捉えて、文章の内容を理解することが大切です。特に、項目ごとにまとめられた文章では、それぞれの見出しに着目して読むことで各項目の内容を大まかに把握できることなど、文章の形態に応じた読み方について指導する必要があります。また、図表や写真などが用いられた文章では、それらが文章のどの部分と関連しているものなのかを確認するなどして、書き手の伝えたい内容をよりの確に読み取ることができるように指導することも重要です。

### 【問題例②】

問題 1三

博物館の催しを案内するちらしを読んで、文章の構成や表現の工夫や効果について、根拠を明確にして自分の考えを条件にしたがって具体的に書くもの。

条件1 「表は、…。裏は、…。」という形で書くこと。

条件2 表現の工夫と、その効果を具体的に書くこと。

条件3 40字以上、80字以内で書くこと。

正答

条件のすべてを満たしているもの

本市正答率 61.4%

#### <分析>

◆文章の構成や展開、表現の仕方について考え、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題です。不正解だった生徒のほぼ全員が、条件1、3を満たし、条件2を満たさないで解答しました。また、無解答率は全国より低いものの、4.9%でした。

◎文章の構成や展開、表現の仕方について考えることは、様々な文章を自分の目的に沿って活用することや、自分で文章を書く際に表現の工夫について考えることにもつながります。例えば、ポスター、パンフレットなどの構成や展開、表現の仕方に着目し、そのような表現をした書き手の目的や意図やその効果を考える学習活動が効果的です。その際、自分の考えを支える根拠となる部分を挙げるように指導することが重要です。

## <中学校数学A>

### 【領域別の分析】

#### 結果から分かること

- ◆「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の各領域で、全国の平均正答率を下回りました。特に、「関数」は、3.0ポイント下回り、基礎基本の習得に課題が見られました。

#### 分析

- ◆本市の平均正答率は、21.5問（全36問）で全国の平均正答数22.4問と約1問の差がありました。生徒一人一人の習熟に応じて、さらに1・2問正答数を増やせるよう、学習内容の定着を確かめることが必要です。

### 【問題例①】

#### 問題 13 (1)

表と裏の出方が同様に確からしい硬貨があります。この硬貨を続けて投げたところ、初めから3回続けて表が出ました。さらにもう1回投げて4回目の表と裏の出方を調べます。4回目の表と裏の出る確率について、下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

#### 正答

ウ 本市正答率 71.7% (全国) 66.0%

#### <分析>

#### 誤答例

- ア 本市解答率 7.3% (全国) 9.2%
- イ 本市解答率 5.5% (全国) 8.1%
- エ 本市解答率 13.6% (全国) 14.7%
- 本市無解答率 1.9% (全国) 1.9%

○本市正答率は、全国に比べて5.7%上回っています。無解答率も1.9%と低く、多くの生徒が問題を理解し、解答していることがうかがえます。

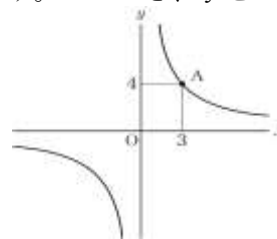
- ◆誤答では、「エ」と回答した割合が他の選択肢に比べて高くなっていますが、これは、3回目までの出方が4回目に影響しないということの理解が十分でないと考えられます。

◎教科書では、さいころを投げる例を用いて、起こり得る結果が同じ程度に期待できる（同様に確からしい）ことを踏まえて、確率を求めています。また、連続して硬貨を投げる場合は、前の結果は次の結果に影響しないことが前提となっており、確率を求める際に、そのことも意識して学習することが必要です。

### 【問題例②】

#### 問題 9 (4)

下の図は、反比例のグラフで、点A(3, 4)を通ります。このとき、yをxの式で表しなさい。



#### 正答

$$y = 12/x$$

本市正答率 26.7%  
(全国) 34.5%

#### <分析>

#### 誤答例

正答以外の反比例の式

本市解答率 3.0% (全国) 2.6%

比例の式

本市解答率 19.1% (全国) 19.4%

上記以外の解答

本市解答率 33.0% (全国) 28.6%

本市無解答率 18.2% (全国) 14.8%

- ◆本市正答率は、全国に比べて7.8%下回りました。無解答率も、3.4%上回り、反比例の理解に課題が見られました。

◎教科書では、反比例の式「 $y = a/x$ 」にxとそれに対応するyの値を代入して、比例定数aを求める方法とともに、比例定数aはxとyの積で求める方法が示されています。反比例の特徴をグラフと関連付けて学び、比例定数の効率のよい求め方を学習する必要があります。

## <中学校数学B>

### 【領域別の分析】

#### 結果から分かること

○「図形」の領域で、全国の平均正答率を2.5%上回りました。その他の領域では、全国の平均正答率を下回りました。

#### 分析

◆設問ごとにみると、概ね全国と傾向は同じですが、本市の正答率が30%を下回った問題が5問、無解答率が30%を超えた問題が3問でした。基礎的・基本的内容の定着について課題があり、得た知識や技能を活用できる基礎を身に付ける必要があります。

### 【問題例①】

#### 問題 2 (1)

桃香さんと拓真さんは、お互いに数学の問題を出し合いながら勉強しています。桃香さんは次のような問題を作りました。

桃香さんが作った問題

xの値に対応するyの値は、次の表のようになります。このとき、 $x = 4$ のとき、yの値を求めなさい。

|   |     |    |    |     |     |
|---|-----|----|----|-----|-----|
| x | ... | 2  | 3  | 4   | ... |
| y | ... | 18 | 12 | ... | ... |

(1) 拓真さんは、桃香さんが作った問題について、yはxの一次関数であると考えました。yがxの一次関数であるとするとき、 $x = 4$ のときのyの値を求めなさい。

#### 正答

「6」 本市正答率 60.8% (全国) 59.1%

### <分析>

#### 誤答例

「9」 本市解答率 11.4% (全国) 13.3%

「36」 本市解答率 0.8% (全国) 0.7%

本市無解答率 9.5% (全国) 8.7%

◆本市正答率は、60.8%で全国を1.7%上回りました。このことは、授業において、一次関数の意味を踏まえて、値を求めることの理解が比較的よくできていた捉えられます。さらに様々な事例を取り上げ、理解を深めることが重要です。

◎教科書では、一次関数の特徴を表・式・グラフを関連付けて、いくつかの事象を用いて学習できるようになっています。特に、表を用いた場合には、xの増加量に対するyの増加量「変化の割合」が一定であることが、一次関数の特徴です。このことを表にx及びyの増加量を記入しながら学習することを繰り返すことで、理解が一層進むと考えます。

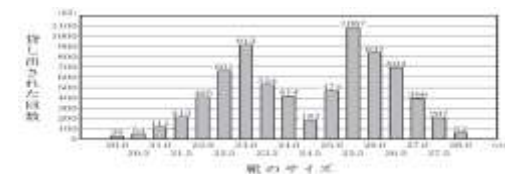
### 【問題例②】

#### 問題 5 (2)

あるボウリング場では、貸し出し用の靴をすべて新しいものに買い替えようとしています。そのために、貸し出し用の靴の総数や、過去1か月に靴が貸し出された回数について調べました。

#### 調べたこと

- 貸し出し用の靴の総数 200 足
- 貸し出された回数の合計 7260 回
- 貸し出された靴のサイズの平均値 24.5cm
- 靴のサイズごとの貸し出された回数のグラフ



上のグラフから、例えば23.5cmの靴が524回貸し出されたことがわかります。調べたことをもとに、どのサイズの靴を何足買うか考えます。

(2) 25.5cmの靴を何足買うかを考えるために、25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求めます。その相対度数を求める式を書きなさい。ただし、実際に相対度数を求める必要はありません。

#### 正答

$1087 \div 7260$

本市正答率 22.8% (全国) 31.1%

### <分析>

#### 誤答例

本市無解答率 34.0% (全国) 33.5%

◆本市正答率は、全国を8.3ポイント下回り、数学Bの設問の中で、一番差がありました。また、およそ1/3の生徒が無解答でした。これは、「相対度数」の意味やその求め方の理解に課題があると考えられます。

◎教科書では、「相対度数」の求め方を学習しています。上記の問題の中にある情報から、相対度数をもとめるのに必要な数値を見つけ出す力が要求されています。様々な資料を例に、目的に応じて情報を整理する力を付ける必要があると考えます。

## ＜小学校質問紙調査＞

### 【質問例①】

#### 質問

学級会などの話し合い活動で、自分と異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。

#### 回答結果

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた本市児童の割合

73.7%

### ＜分析＞

- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は、15ポイント以上、全国と比較して上回っています。
- 「自分とは異なる意見を聞いてそれを生かす」「折り合いをつけながら意見をまとめる」といった話し合い活動を行っていた児童は国語、算数ともに正答率が高い傾向が見られます。
- ◎自分の考えをもった上で、友達の考えと折り合いをつけながら話し合い活動を行うことが学力向上につながると考えられます。

### 【質問例②】

#### 質問

読書は好きですか。

#### 回答結果

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた本市の児童の割合

67.9%

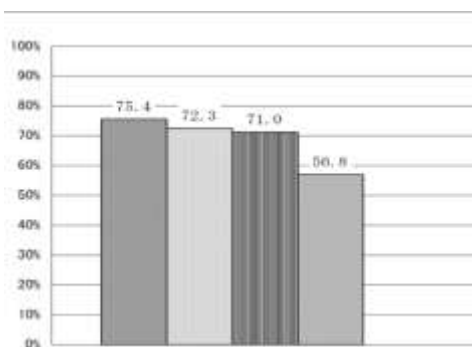
### ＜分析＞

- ◆「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合は、全国と比較して下回っています。
- ◆およそ30%の児童が、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答しています。
- ◎日頃から読書に親しみ、本を読む楽しさを味わっていくことが必要であると考えられます。
- ◎ジャンルにとらわれずに様々な種類の本に出会い、本を読む楽しさを体験することで、今後、読書が好きになる可能性があると考えます。また、本を読むことにより文章を読む力が身に付き、根気強く問題に取り組むことにより、学力向上につながると考えられます。

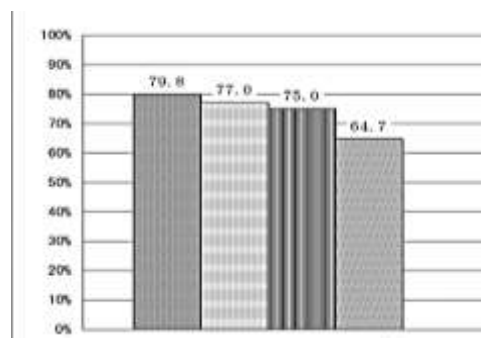
### クロス集計の結果

「話し合い活動で自分と異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめた」×「教科に関する調査」(正答率)

| 選択肢             | 児童数の割合 | 国語A (平均正答率) | 算数A (平均正答率) |
|-----------------|--------|-------------|-------------|
| そう思う            | 24.9%  | 75.4%       | 79.8%       |
| どちらかといえば、そう思う   | 49.0%  | 72.3%       | 77.0%       |
| どちらかといえば、そう思わない | 21.0%  | 71.0%       | 75.0%       |
| そう思わない          | 5.1%   | 56.8%       | 64.7%       |



国語A



算数A

＜中学校質問紙調査＞

【質問例①】

質問

1、2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。

回答結果

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた本市生徒の割合  
83.1%

＜分析＞

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国の平均を13.8ポイント上回っています。
- 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」、の質問についても「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国の平均を22.8ポイント上回っています。
- ◎教師による一斉型の授業に加え、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び（アクティブ・ラーニング）は、思考力、判断力、表現力等をはぐくみ、「確かな学力」を身に付けることにつながると考えられます。

【質問例②】

質問

普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームする時間は除く）

回答結果

「4時間以上」 7.0%  
「2時間以上3時間未満」 20.3%  
「携帯電話やスマートフォンを持っていない」 22.5%

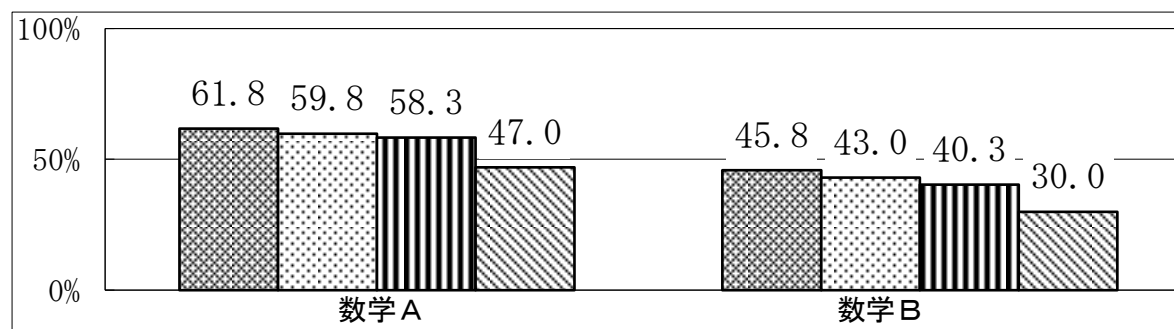
＜分析＞

- 「4時間以上」と答えた生徒の割合は全国の平均を1.6ポイント、「2時間以上3時間未満」と答えた生徒の割合は全国の平均を1.2ポイント下回っているものの、およそ4人に1人の生徒が、平日2時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットに費やしています。
- また、平日に「2時間以上」テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしている、と答えた生徒の割合は49.2%になります。
- ◎各種メディアとの接し方については、家庭でのルールづくりが重要です。時間管理を促し、規則正しい生活を送らせることが大切であると考えます。

クロス集計の結果

「1、2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか」×「教科に関する調査」（正答率）

| 選択肢              | 生徒数の割合 | 数学A (平均正答率) | 数学B (平均正答率) |
|------------------|--------|-------------|-------------|
| 当てはまる            | 29.0%  | 61.8%       | 45.8%       |
| どちらかといえば、当てはまる   | 54.1%  | 59.8%       | 43.0%       |
| どちらかといえば、当てはまらない | 12.0%  | 58.3%       | 40.3%       |
| 当てはまらない          | 4.7%   | 47.0%       | 30.0%       |



## <H28 埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会）より抜粋

### 1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：[埼玉県学力・学習状況調査](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html) 埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

### 2 調査対象

小学校第4・5・6学年、中学校第1・2・3学年 原則として全児童生徒

### 3 調査実施日

平成28年4月14日（木）

### 4 調査の内容

#### （1）教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数  
 中学校第1学年 国語、数学  
 中学校第2学年及び第3学年 国語、数学、英語

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

#### （2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

## 桶川市の調査結果の概況

### <小学校>

| 国語                   | 第4学年 |         |         | 第5学年 |         |         | 第6学年 |         |         |
|----------------------|------|---------|---------|------|---------|---------|------|---------|---------|
|                      | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 話すこと・聞くこと・書くこと       | 4    | 55.9%   | 54.2%   | 4    | 57.8%   | 55.1%   | 4    | 49.4%   | 47.8%   |
| 読むこと                 | 5    | 49.4%   | 46.8%   | 9    | 67.2%   | 64.4%   | 9    | 68.0%   | 67.2%   |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 17   | 66.3%   | 65.0%   | 17   | 67.7%   | 66.7%   | 17   | 60.9%   | 59.8%   |

| 算数   | 第4学年 |         |         | 第5学年 |         |         | 第6学年 |         |         |
|------|------|---------|---------|------|---------|---------|------|---------|---------|
|      | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 数と計算 | 15   | 74.9%   | 71.7%   | 16   | 78.2%   | 75.7%   | 14   | 74.5%   | 72.8%   |
| 量と測定 | 5    | 68.5%   | 66.4%   | 5    | 66.6%   | 65.3%   | 7    | 66.1%   | 66.0%   |
| 図形   | 6    | 62.1%   | 61.4%   | 5    | 62.2%   | 60.4%   | 6    | 55.7%   | 54.8%   |
| 数量関係 | 4    | 71.3%   | 70.7%   | 6    | 61.0%   | 60.8%   | 5    | 59.9%   | 59.2%   |



＜児童への質問紙調査＞（主な結果：「規律ある態度」に関する項目の結果）

※ 達成率：「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合

上段：本市の達成率、下段：県の達成率、          は80%以上 （%）

| 内容                | 項目                 | 第4学年 | 第5学年 | 第6学年 |
|-------------------|--------------------|------|------|------|
| ○けじめある生活ができる      | 1 時刻を守る            |      |      |      |
|                   | ① 登校時刻             | 92.7 | 95.5 | 95.6 |
|                   |                    | 92.4 | 94.5 | 94.8 |
|                   | ② 授業開始時刻           | 95.1 | 94.9 | 95.3 |
|                   |                    | 92.9 | 95.2 | 95.6 |
|                   | 2 身の回りの整理整頓をする     |      |      |      |
|                   | ③ 靴そろえ             | 83.5 | 86.0 | 87.2 |
|                   |                    | 84.7 | 87.2 | 87.5 |
| ④ 整理整頓            | 84.6               | 83.1 | 83.2 |      |
|                   | 82.8               | 84.6 | 84.7 |      |
| ○礼儀正しく人と接することができる | 3 進んであいさつや返事をする    |      |      |      |
|                   | ⑤ あいさつ             | 81.8 | 81.6 | 83.5 |
|                   |                    | 81.3 | 81.8 | 80.8 |
|                   | ⑥ 返事               | 90.2 | 89.7 | 91.0 |
|                   |                    | 88.7 | 89.6 | 89.7 |
|                   | 4 ていねいな言葉づかいを身に付ける |      |      |      |
|                   | ⑦ ていねいな言葉づかい       | 87.0 | 88.5 | 91.3 |
|                   |                    | 86.1 | 87.4 | 89.8 |
| ⑧ やさしい言葉づかい       | 86.1               | 87.2 | 85.8 |      |
|                   | 84.0               | 84.2 | 83.4 |      |
| ○約束やきまりを守ることができる  | 5 学習のきまりを守る        |      |      |      |
|                   | ⑨ 学習準備             | 87.6 | 87.9 | 86.9 |
|                   |                    | 81.0 | 85.9 | 85.1 |
|                   | ⑩ 話を聞き発表する         | 82.9 | 78.1 | 77.4 |
|                   |                    | 79.4 | 76.8 | 73.5 |
|                   | 6 生活のきまりを守る        |      |      |      |
|                   | ⑪ 集団の場での態度         | 87.5 | 90.0 | 89.7 |
|                   |                    | 84.3 | 89.2 | 87.1 |
| ⑫ 掃除・美化活動         | 91.0               | 92.0 | 86.1 |      |
|                   | 88.2               | 89.6 | 87.5 |      |

## <中学校>

| 国語                   | 第1学年 |         |         | 第2学年 |         |         | 第3学年 |         |         |
|----------------------|------|---------|---------|------|---------|---------|------|---------|---------|
|                      | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 教科の領域等               |      |         |         |      |         |         |      |         |         |
| 話すこと・聞くこと・書くこと       | 4    | 56.8%   | 56.7%   | 4    | 58.0%   | 54.9%   | 4    | 51.7%   | 51.9%   |
| 読むこと                 | 9    | 54.6%   | 53.1%   | 9    | 55.0%   | 52.0%   | 9    | 59.1%   | 57.4%   |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 17   | 65.0%   | 62.6%   | 17   | 65.0%   | 62.0%   | 17   | 57.1%   | 56.8%   |

| 数学     | 第1学年 |         |         |
|--------|------|---------|---------|
| 教科の領域等 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 数と計算   | 12   | 65.6%   | 62.8%   |
| 量と測定   | 9    | 64.9%   | 63.2%   |
| 図形     | 4    | 76.8%   | 75.0%   |
| 数量関係   | 7    | 62.5%   | 60.5%   |

| 数学     | 第3学年 |         |         |
|--------|------|---------|---------|
| 教科の領域等 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 数と式    | 14   | 64.1%   | 66.3%   |
| 図形     | 9    | 67.9%   | 67.6%   |
| 関数     | 5    | 48.7%   | 46.8%   |
| 資料の活用  | 4    | 61.3%   | 57.9%   |

| 数学     | 第2学年 |         |         |        |     |         |         |
|--------|------|---------|---------|--------|-----|---------|---------|
| 教科の領域等 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 | 教科の領域等 | 設問数 | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 数と計算   | 3    | 62.5%   | 61.3%   | 数と式    | 12  | 66.7%   | 67.6%   |
| 量と測定   | 1    | 47.5%   | 48.0%   | 図形     | 6   | 61.4%   | 59.1%   |
| 図形     | 1    | 59.1%   | 61.6%   | 関数     | 5   | 62.9%   | 59.9%   |
| 数量関係   | 1    | 30.7%   | 29.7%   | 資料の活用  | 3   | 45.6%   | 45.1%   |

| 英語     | 第2学年 |         |         | 第3学年 |         |         |
|--------|------|---------|---------|------|---------|---------|
| 教科の領域等 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本市平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 聞くこと   | 10   | 62.4%   | 60.6%   | 10   | 68.7%   | 65.5%   |
| 話すこと   | 0    | -       | -       | 0    | -       | -       |
| 読むこと   | 21   | 60.8%   | 57.4%   | 23   | 65.0%   | 61.9%   |
| 書くこと   | 7    | 60.9%   | 57.0%   | 7    | 45.4%   | 41.5%   |



＜生徒への質問紙調査＞（主な結果：「規律ある態度」に関する項目の結果）

※ 達成率：「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合

上段：本市の達成率、下段：県の達成率、          は80%以上 （%）

| 内容                | 項目                 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------------|--------------------|------|------|------|
| ○けじめある生活ができる      | 1 時刻を守る            |      |      |      |
|                   | ① 登校時刻             | 99.2 | 96.4 | 95.4 |
|                   |                    | 97.6 | 97.1 | 95.9 |
|                   | ② 授業開始時刻           | 98.3 | 97.0 | 96.7 |
|                   |                    | 98.1 | 97.1 | 96.3 |
|                   | 2 身の回りの整理整頓をする     |      |      |      |
|                   | ③ 靴そろえ             | 91.4 | 89.7 | 88.1 |
|                   |                    | 92.3 | 90.8 | 89.7 |
| ④ 整理整頓            | 85.9               | 82.8 | 84.0 |      |
|                   | 85.7               | 84.3 | 83.3 |      |
| ○礼儀正しく人と接することができる | 3 進んであいさつや返事をする    |      |      |      |
|                   | ⑤ あいさつ             | 86.8 | 83.3 | 82.1 |
|                   |                    | 85.7 | 84.0 | 81.7 |
|                   | ⑥ 返事               | 94.7 | 87.6 | 87.5 |
|                   |                    | 91.3 | 87.1 | 86.3 |
|                   | 4 ていねいな言葉づかいを身に付ける |      |      |      |
|                   | ⑦ ていねいな言葉づかい       | 93.2 | 89.8 | 91.0 |
|                   |                    | 92.3 | 90.1 | 90.3 |
| ⑧ やさしい言葉づかい       | 91.6               | 83.7 | 82.4 |      |
|                   | 89.9               | 84.6 | 84.5 |      |
| ○約束やきまりを守ることができる  | 5 学習のきまりを守る        |      |      |      |
|                   | ⑨ 学習準備             | 93.4 | 91.2 | 90.3 |
|                   |                    | 92.0 | 87.5 | 86.0 |
|                   | ⑩ 話を聞き発表する         | 81.0 | 70.0 | 64.5 |
|                   |                    | 77.6 | 67.7 | 66.4 |
|                   | 6 生活のきまりを守る        |      |      |      |
|                   | ⑪ 集団の場での態度         | 94.7 | 91.2 | 91.3 |
|                   |                    | 93.6 | 91.2 | 91.6 |
| ⑫ 掃除・美化活動         | 88.2               | 83.6 | 84.5 |      |
|                   | 87.9               | 83.7 | 82.2 |      |

## 桶川市の学力向上の取組

教育委員会では、学力の向上を教育行政の最重要課題として位置付けており、各学校におけるより一層の学習指導の改善・充実に向け、支援を行っております。「児童生徒の進路実現に向けた小・中学校9年間を見通した一貫性のある学習指導の推進」、「思考力・判断力・表現力等の育成を図る言語活動の充実」、「児童生徒一人一人に応じた指導の充実」を重点に取り組んでいるところでございます。

また、各学校においては、今回の調査結果を分析して成果や課題を明らかにし、学力向上プランを見直し、教職員で課題を共通認識して、授業改善等に取り組むことを確認しております。教育委員会といたしましては、全小中学校への学校訪問を行い、南部教育事務所の支援を受けながら、学校課題研究の充実や学力向上に向けた授業改善等についての指導・助言を通して、各学校の取組の推進を支援してまいります。

### 1 学校課題研究（校内研修）の充実

- (1) 研究主題に迫るための授業研究会（授業改善・言語活動等）の実施
- (2) 今年度の研究発表校

| 学校名    | 研究領域 | 研究主題等  | 研究発表会              |
|--------|------|--|--------------------|
| 日出谷小学校 | 国語科  | 自分の思いや考えを豊かな言葉で表現できる児童の育成<br>～書いて伝えることを通して～      | 平成28年<br>12月6日(火)  |
| 朝日小学校  | 算数科  | どの子にもわかる・できるを実感させる算数科学習<br>～特別支援教育の視点を生かした学びの創造～ | 平成28年<br>11月10日(木) |
| 加納中学校  | 学習指導 | 主体的に学び、確かな学力を育む指導方法の研究<br>～協調学習を取り入れた授業を通して～     | 平成28年<br>10月25日(火) |

### 2 1時間1時間の授業改善（具体的な指導法の工夫・改善）

- (1) 思考力・判断力・表現力の育成を図る言語活動の充実
- (2) 体験的・問題解決的な学習の充実
- (3) 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視
  - ア 本時（又は単元）の課題（ねらい）の提示
  - イ 予想の場や試行錯誤する場の設定
  - ウ 自分なりの追求方法や手順等の選択・決定への支援
  - エ 課題に対応したまとめ

### 3 個に応じた指導の充実

- (1) T Tや少人数指導などきめ細やかな指導の充実
  - \* T T…1教室に複数の教師が入り、分担・協力して指導する方法
  - \* 少人数指導…通常よりも少ない人数で授業を行う方法

### (2) 各種補助員の配置

個に応じた指導を充実させるため、各校に各種指導補助員を配置しています。



## 保護者の皆様へ

今回の調査で家庭での学習について、予習・復習をしたり、自分で計画を立てて学習している児童生徒の割合は全国平均を上回っているものの、小学校6学年の回答では家庭での学習時間や読書の時間がやや少ない傾向が見られます。保護者の皆様には、学校での教育活動にご理解、ご協力をいただきながら、ご家庭での学習時間の確保を図り、家庭学習が定着するようより一層のご協力をお願いいたします。

# 平成28年度 桶川市学校教育プラン

桶川市教育委員会

生きる力を育み  
未来へはばたく  
桶川の教育



## 桶川教育の3本柱

桶川市教育委員会・  
桶川市教育研究会委嘱研究  
市内全小中学校

今年度本発表校

加納中 10月25日(火)  
朝日小 11月10日(木)  
日出谷小 12月6日(火)

## 確かな学力

- 児童生徒の進路実現に向けた小・中学校の一貫性のある学習指導の推進
- 思考力・判断力・表現力等の育成を図る言語活動の充実
- 児童生徒の主体的な学びを促す指導の推進

- 「考え、話し合い、学び合う学習」推進事業  
推進協力校 加納小・加納中
- 地域の教育力を生かした学習支援の取組の推進  
川田谷小

## 豊かな心

- 豊かな人間性をはぐくむ道德教育の推進
- いじめ撲滅を目指す生徒指導の推進
- 一人一人を大切にする特別支援教育の充実

- 生徒指導研究推進モデル校 桶川東中・加納中
- 「いじめ防止のための望ましい人間関係づくり」研究推進校  
桶川東中

## 健やかな体

- 運動の楽しみや喜びを味わえる体育授業・体育的活動の充実
- 健康課題を解決するための資質・能力を育成する健康教育の充実
- 学校給食を活用した望ましい食習慣を目指す食育の推進
- 自他の生命を尊重し、安全に配慮した安心・安全な学校づくりの推進

# 平成28年度 桶川市教育委員会 学校教育 指導の重点・努力点

- 基本目標**
- I 確かな学力の育成と質の高い教育環境の充実
  - II 豊かな心の育成と人権意識の高揚
  - III 健やかな体の育成
  - IV 家庭・地域の教育力の向上
  - V 生涯にわたる学びとスポーツの支援
  - VI 伝統文化・芸術の振興と文化財の保存・活用の推進

|  |  |  |
|--|--|--|
| 生きる力を育み未来へはばたく桶川の教育  | <p><b>学校経営</b><br/>                 ○創意工夫をいかし、特色ある教育活動の充実を目指す<br/>                 小・中学校9年間を見通した一貫性のある学校教育の推進(Ⅰ)<br/>                 学習環境の整備・充実(Ⅰ)<br/>                 教職員の資質能力の向上(Ⅰ)<br/>                 学校応援団の充実(Ⅳ)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育目標の具現化</li> <li>○ 地域や各学校の実態に即した教育課程の編成、実施、評価</li> <li>○ 夏季休業日の短縮に伴う教育活動の工夫</li> <li>○ 研修の充実と指導力の向上</li> <li>○ 家庭や地域社会との積極的な連携、異校種間を含めた学校間の連携・協力</li> <li>○ 教育に関する9つの達成目標の継続的な取組</li> </ul>    |
|  | <p>学級経営<br/>                 ・児童生徒一人一人に、自己表現を図る態度や自ら学び、自ら考える力を育成し、魅力ある学級づくりに努める</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の教育目標の達成を図り、創意工夫をいかした学級経営の推進</li> <li>○ 児童生徒一人一人の自主的、実践的態度の育成を目指す学級経営の推進</li> <li>○ 児童生徒の指導に役立てる計画的・継続的な評価の実践</li> <li>○ 児童生徒一人一人のよき点や可能性を伸ばす指導の工夫</li> </ul>                                   |
|  | <p><b>学習指導</b><br/>                 ○生きる力を伸ばす授業の創造を目指す<br/>                 一人一人の確かな学力を育む教育の推進(Ⅰ)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語活動を充実の充実による児童生徒の思考力、判断力、表現力等の育成</li> <li>○ 学習意欲の向上と家庭学習を視野に入れた指導の推進</li> <li>○ 児童生徒一人一人に応じた指導の充実</li> <li>○ 小・中学校の連携をいかにした学習指導の改善・充実</li> <li>○ 各種調査(学力・学習状況調査等)結果の分析を活用した学力向上の取組の充実</li> </ul> |
|  | <p><b>生徒指導</b><br/>                 ○心豊かな児童生徒の育成を目指す<br/>                 心豊かな児童生徒の育成を目指す生徒指導の充実(Ⅱ)<br/>                 いじめ・不登校の未然防止の推進(Ⅱ)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣の育成と生き甲斐のある学校生活の実現</li> <li>○ 全教職員の共通理解に基づいたいじめ・不登校対策の充実</li> <li>○ 小・中学校を始め、家庭・地域社会、諸機関との連携の推進</li> </ul>  |
|  | <p><b>進路指導・キャリア教育</b><br/>                 ○自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、進路指導・キャリア教育の充実を図る<br/>                 主体的に進路を切り拓く力を育むキャリア教育の推進(Ⅰ)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全教職員による協力的指導体制の整備と校内研修の充実</li> <li>○ 小・中学校の連携と家庭・地域の理解が得られる体制づくり</li> <li>○ 発達段階に応じたキャリア教育の推進</li> </ul>  |
|  | <p><b>道徳教育</b><br/>                 ○人間としての生き方についての自覚を深め、実践できる児童生徒の育成を目指す<br/>                 豊かな心を育む教育の推進(Ⅱ)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育目標や児童生徒、家庭・地域の実態等を考慮した全体計画の作成</li> <li>○ 基本的な生活習慣の定着及び道徳の実践を促す指導の充実</li> <li>○ 全教育活動を通じた実践と家庭・地域との連携</li> </ul>   |
|  | <p>総合的な学習の時間<br/>                 ・主体的な課題意識や自己学習力を育成する</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や学校、児童生徒の実態等に応じた全体計画の作成・改善</li> <li>○ 指導と評価の計画の改善・充実に向けた組織的、計画的な取組</li> <li>○ 保護者や地域の人々の教育力を活用した体制づくりの推進</li> </ul>   |
|  | <p>特別活動<br/>                 ○望ましい集団活動を通して、児童生徒一人一人の個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的態度の育成を図る</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全教職員の協力の下、学校の特色をいかにした指導計画の作成と活用・実践</li> <li>○ 児童生徒の自主的、実践的、活動意欲を高める指導と評価の工夫</li> <li>○ 特別活動の各活動を適切に指導するための指導時間の確保</li> </ul>  |
|  | <p>学校教育相談<br/>                 ○児童生徒が抱える悩みや不安などを解消するために本人又は保護者などへの支援を通じて、よりよい人格の形成を図る</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育相談体制の充実(さわやか相談員、SC、SSWの配置・教育センターの運営・適応指導教室・特別支援教育との連携)</li> <li>○ 学校教育相談の積極的推進(不登校児童生徒の登校支援)</li> <li>○ 相談機関等との連携</li> <li>○ 各種調査結果の分析を活用した児童生徒理解の推進</li> </ul>                               |
|  | <p><b>体育</b><br/>                 ○健やかな体と豊かな心をもった児童生徒を育成する<br/>                 体力向上を目指した学校体育の充実(Ⅲ)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心と体を一体としてとらえ、児童生徒一人一人が運動の楽しさや喜びを味わえる指導の実践</li> <li>○ 体力向上を目指した体育的活動の実践</li> <li>○ 体育施設・設備の整備と事故防止の徹底</li> </ul>   |
|  | <p><b>健康教育</b><br/>                 ○生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を主体的に実践できる児童生徒を育成する<br/>                 食育の推進を通じた健康教育の充実(Ⅲ)<br/>                 家庭・地域と連携した安全教育・安全管理の推進(Ⅲ)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康の大切さを認識し、健康課題を解決するための資質・能力の育成</li> <li>○ 自他の生命を尊重し、自他の安全に配慮した行動できる資質・能力の育成</li> <li>○ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣の育成</li> <li>○ 家庭・地域社会・関係機関等と連携した取組の実践</li> </ul>                                       |
|  | <p><b>人権教育</b><br/>                 ○人権問題を正しく理解し、人権感覚を身に付け、様々な人権問題を解決しようとする児童生徒を育成する<br/>                 学校教育における人権教育の推進(Ⅱ)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全教職員の共通理解に基づく推進体制の確立</li> <li>○ 児童生徒の発達段階を踏まえた全体計画や指導計画に基づく着実な実践</li> <li>○ 他者の痛みを共有できる豊かな人権感覚の育成</li> <li>○ 保護者・地域・関係機関等との連携</li> </ul>  |
|  | <p><b>特別支援教育</b><br/>                 ○すべての学校において、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進する<br/>                 共生社会を支える特別支援教育の推進(Ⅰ)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 適切な就学相談の充実</li> <li>○ 児童生徒一人一人の実態に応じた教育的支援の充実(ことばの教室・通級指導教室)</li> <li>○ 特別支援教育推進を図る校内支援体制の充実</li> <li>○ 研修の充実と指導力の向上</li> </ul>   |
|  | <p>国際理解教育<br/>                 ・国際社会において信頼され、世界の平和と発展に貢献できる能力と態度の育成に努める</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニケーション能力の育成</li> <li>○ 外国人児童生徒、帰国児童生徒の支援</li> <li>○ 創意工夫を生かした特色ある指導計画の作成と活用・実践</li> </ul>  |
|  | <p><b>情報教育</b><br/>                 情報及び情報手段を主体的に収集・選択し、活用できる情報活用能力の育成に努める<br/>                 時代の変化に対応する教育の推進(Ⅰ)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校や地域の実態等を踏まえ、情報教育を位置づけた教育計画の充実</li> <li>○ ICTを活用した学習指導の充実と諸条件の整備</li> <li>○ 児童生徒の情報活用能力を育てる学習指導方法・教材の工夫</li> </ul>   |
|  | <p>環境教育<br/>                 ・環境を大切にすると主体的に行動できる能力や態度を育てる</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体計画・年間計画に基づいた指導の充実</li> <li>○ 持続可能な社会の実現のため、環境を守ろうとする心と態度の育成</li> <li>○ 地域の自然環境や社会環境等を生かした環境教育の推進</li> </ul>   |
| <p>ボランティア・福祉教育<br/>                 ・社会福祉への関心と理解を深め、共に豊かに生きていこうとする心と態度を身に付ける</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達段階に即したボランティア・福祉教育の実践</li> <li>○ 学校や地域の実態に即したボランティア・福祉体験活動の推進</li> </ul>   |  |
| <p>男女平等教育<br/>                 ・児童生徒一人一人が個性や能力を発揮して、自らの意思により行動できるよう、男女平等の意識を高める教育を推進する</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育活動全体を通じた組織的・継続的な指導の推進</li> <li>○ 発達段階に応じた指導内容・指導方法の工夫・改善</li> <li>○ 家庭や地域社会との連携</li> </ul>  |  |
| <p>学校図書館教育<br/>                 ・学校図書館の利用に必要な基礎的な知識や方法の習得及び自発的な学習の態度の育成に努める</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校図書館の利用を位置づけた指導計画の作成</li> <li>○ 学校図書館を利用した学習の充実情報活用能力の育成</li> <li>○ 図書館と連携した子供読書活動の推進</li> </ul>   |  |